



令和元年度 No. 11

# 駒岡小学校だより

3月号

## これからも手を携えて

校長 中山 正之

例年より暖かかった2月が終わり、3月を迎えました。新型コロナウイルス感染症の対策のため、横浜市立学校は3月3日から13日まで一斉臨時休業を行うことになりました。また3月19日の卒業式は、校内に感染者がいない場合、卒業生、教職員、保護者代表の参加で実施することになりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、これらの対応について、感染リスクに備えるためのものとしてご理解とご協力をいただきますよう、何卒お願いいたします。

2月18日に「地域の方への感謝の会」が実施されました。普段お世話になっている後援会、PTA役員、ブックペアレンツの皆様方21名にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で進められました。会では子ども達が各クラスで作ったカードと生花をプレゼントし、感謝の気持ちを全校の呼びかけと合唱で表しました。私がこの会に参加するのは三度目になりますが、毎回きまって感じるがあります。それは、「子ども達は、ステージにいる方々が誰なのかをしっかりと知っていて、『ありがとう』を伝えている」ということです。お越しいただいた皆様の学校への関わり方は様々ですが、どなたも一年を通じて子ども達と接してくださっています。また、学校外においてもそれぞれに住む地域で、日常的に子ども達に関わっていただいています。こうしたことから子ども達はお越しの方々に親しみを感じ、自然と感謝の気持ちを表すことができるのではないかと思います。「地域とともにある駒岡小学校」の良さはこうしたところに現れるのだと、毎年強く感じることでできる機会です。

先月の学校だよりでも少し触れられていましたが、「学校応援ボランティア」の募集を新年度より開始する予定です。学習活動の充実、校内の環境整備、飼育動物のお世話、子ども達の登下校時の安全確保等々、学校では現在、保護者・地域の皆様のお力をお借りしたい事柄が数多くあります。中でも下校時の安全につきましては、大きな課題ととらえています。昨年末保護者の皆様にお願ひした学校評価アンケートでも、多くの方にご意見を頂きました。また、教職員による来年度の学校経営の計画の話し合いでも、この話題が取り上げられました。学校としては、子ども達の歩き方の指導や下校時刻のずれをなくしていくなどの対策を講じていきますが、それだけではなかなか解決には至りません。そこで、方策の一つとして、保護者の皆様や地域の方々に、下校時の子ども達の様子を見守っていただくことはできないかと考えています。これにつきましては、まだ机上のアイディアの段階ですので、これから来年度に向けて考えていかななくてはなりません。ただ、学校応援ボランティアを募集する中で、実現させたい事柄の一つです。何か良いお知恵等がありましたら、ぜひお聞かせ願えればと思います。

振り返ってみると、今年度は多くの工事が行われた一年でした。北校舎のトイレ改修、南校舎の教室の増設と音楽室の改修、中庭の流水池の修繕、そして現在も続いている放課後キッズクラブの建設工事と、比較的大きな工事が続きました。放課後キッズクラブにつきましては、新棟の完成が4月下旬と見込まれています。4月1日の開設を新棟で迎えることが難しい状況となり、少し残念ではありますが、それでも楽しみに待ちたいと思います。保護者の皆様には当初ご不便をおかけすることになりますが、どうかご容赦ください。

この一年間、保護者の皆様、後援会の皆様、地域の皆様に多くのご支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。心から感謝いたします。学年末から新年度にかけて、予断を許さない状況が当面は続くものと思われませんが、これからも皆様とともに歩んでいけたらと願っています。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

